

2026年9月15日（火）

高大連携による「Hokkaido Study Abroad Program」の一環として、北海道大学から2名の留学生を迎え、英語研究部の生徒たちと交流会を行いました。

2名は、北大大学院で研究をしている中国、パキスタンからの大学院生です。それぞれの留学生の母国の文化や言語、趣味について、北大での研究内容について英語でプレゼンをしていただき、生徒たちは興味深く聞いていました。また、質問タイムでは英語でたくさん質問をしていました。英語研究部メンバーからは、札幌北高校の行事や勉強について、全員がそれぞれのテーマでプレゼンを行いました。留学生からは、「英語の4技能の中で何が一番大切だと思いますか？」と質問があり、生徒たちはあらためて「スピーキング力」の大切さ、文法よりも相手に何かを伝えようとする意識の大切さを再認識することができました。

ICC 部長は最後の挨拶で、「異文化を学び、異なる視点を得ることができました」と述べていました。英語を学ぶモチベーションがさらに高まりました！



